

95

95-96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200

生物音響資料

自然の音を未来に伝える
音声コレクションへ

大庭 悠代 Teruyo Oba
千葉県立中央博物館 鳥類研究員
E-mail: teruyoteruyo@gmail.com




ご挨拶

私は、2019年5月に、1989年から30年間勤務した千葉県立中央博物館を退職しました。現在は、民間研究員（外部研究員）の立場を以って、退職中に収集した自然史標本の音声記録資料からなる生物音響資料の集りに取り組んでいます。この資料は集積の一環として専門的な観点により、音声コレクションが中央博物館の資料の一環として、新しい研究の場にも活用されることを目指しています。これまで、知能情報科学や生物情報学とご縁がございました。さらには、鳥類が鳴く姿などの生物の姿がもたらす、生態学的・環境学的・社会的な意義及び自然の音響資料の重要性を改めて、鳥類の鳴き声、行動、生態、などについて世界中の生物学者についてお話しすることができ大変うれしく思います。さらに、退職後の期間では、研究に携わった多様な鳥類学研究者や学生の方々と、TwitterからInstagramへの交流が非常にうれしく思っています。

開館30周年記念誌

2019年2月
千葉県立中央博物館




開館30周年記念誌の概要と目次に関する詳細な説明が記載されています。また、開館30周年の歴史や博物館の活動についても触れられています。

音声コレクション

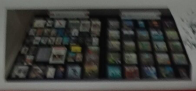
千葉県立中央博物館

音声コレクションの概要と収録内容に関する説明が記載されています。収録された鳥類の種類や録音の環境についても触れられています。




個別音と音環境 <テープ・CD>

生物音響資料は、個別の音と音環境の2つの要素からなる。個別の音と音環境を収録したテープやCDの2種類があります。2019年1月現在、集めた音環境は25種類ですが、個別の音も多数収録しているコレクション。集めた音環境は、個別の音と音環境の2種類からなる。個別の音と音環境の2種類からなる。個別の音と音環境の2種類からなる。



音声ファイル <音声認識技術の導入>

音声認識技術の導入に関する説明が記載されています。音声認識技術がどのように活用されているかについても触れられています。



自然の音のデータベース

自然の音のデータベースに関する説明が記載されています。データベースの構築や利用に関する情報も提供されています。

